

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	浄水施設更新事業				財務会計上の事業名	—
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	6	1	1	担当部署名	浄水課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第6節上水道事業の充実				
	項目	項目1 施設更新事業の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	老朽化した施設の更新を順次行うとともに、基幹施設の耐震化を実施する。
めざす姿(目標)	計画的に施設の更新及び耐震化を進め、安全・安心な水道水を安定的に供給する。
事業の対象(誰を、何を)	古江浄水場及び各配水池
事業の手段・方法(どのように)	老朽化した施設の更新、基幹施設の耐震化
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・池田市上水道施設整備計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	649,539	386,507	668,970	配水池耐震化率 整備計画更新件数	69.0% 6件	73.1% 8件	100.0% 10件	
主な内訳	施設更新工事	467,716	358,457					534,859
	耐震補強工事	181,823	28,050					134,111
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	一部先送りした事業があるが、事業費も当初より抑えられ、順調に施工できている。		
	地方債	493,100	287,800	325,800				
	その他(工事負担金)	80,718	67,733	215,701	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	一般財源 C	75,721	30,974	127,469	・上記「有効性・効率性」選択の理由	一部先送りした事業はあるが、設備更新及び耐震化は計画通り実施できており、支出も抑えられている。		
一般財源比率 C÷A	11.7%	8.0%	19.1%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>老朽化施設の更新については今後も継続的に計画しておく必要があり、アセットマネジメントも踏まえて実施していく。施設の耐震化については詳細設計により耐震補強方法の検討を行った結果、当初より事業費が下がる予定である。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>施設の更新及び耐震補強工事の施工において、施設の一部停止の必要性がある。そのため、給水への影響が無いよう注意を払っていく必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 施設の更新及び耐震補強については順調に施工されており、今後も同様に実施していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	配水施設更新事業				財務会計上の事業名	—
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	6	1	2	担当部署名	水道工務課
総合計画の体系	章	第3章人、環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第6章上水道事業の充実				
	項目	項目1 施設更新事業の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	老朽化した配水管を耐震管へ計画的に更新する。
めざす姿(目標)	計画的に配水管の更新及び耐震化を進め、有収率の向上を図るとともに、安全・安心な水道水を安定的に供給する。
事業の対象(誰を、何を)	老朽化した配水管(耐用年数40年以上経過管)
事業の手段・方法(どのように)	老朽化した配水管を耐震管に布設替する。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	・池田市上水道施設整備計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	581,526	438,871	666,460	老朽配水管残存延長	33km	30km	18km	
主な内訳	工事費	581,526	438,871					
	委託料		7,300					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金	29,100	13,000	19,000	・上記「達成状況」選択の理由	目標の3~4km/年の更新を達成している。		
	地方債	472,000	380,500	444,600				
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
一般財源 C	80,426	45,371	202,860	・上記「有効性・効率性」選択の理由	全ての老朽管を更新することが目標であるが、重要施設への供給ルートを優先して耐震化更新することにより災害時の被害を最小限に抑えることができる。			
一般財源比率 C÷A	13.8%	10.3%	30.4%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>・材料費、労務費等の上昇による事業費の増。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>・交付金等の財源の確保。 ・毎年、工事を平準化して更新を行うための人員確保。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>事業は順調に推移している。今後、補助金を活用し基幹管路の更新を優先的に行い、全体的にスピードアップを図るため、事業の拡充が必要と考える。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	水質検査体制強化事業				財務会計上の事業名	—
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	6	2	1	担当部署名	水質管理課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第6節上水道事業の充実				
	項目	項目2安全で安定した水の供給				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	水源から蛇口までの水質検査体制を強化する。
めざす姿(目標)	水質検査体制を強化し、水道水質の変化に早急に対応する。また、水道GLPを維持し、水質検査の信頼性を確保する。
事業の対象(誰を、何を)	水道水の水質検査
事業の手段・方法(どのように)	検査担当者の複数化及び水道GLPの維持を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	2,287	12,378	19,555		水道GLPの維持	100%	100%	100%
主な内訳	手数料	54	330	55	自己検査項目の拡大	46項目	47項目	48項目
	固定資産購入費	2,233	12,048	19,500				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	水道GLPの維持は適切に行え、自己検査項目の拡充も行えているため。		
	地方債							
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	2,287	12,378	19,555	・上記「有効性・効率性」選択の理由	自己水の比率が高いため、水質検査体制の強化と検査結果の信頼性確保の継続は必要である。効率性については、検査担当者の複数化が完了し、柔軟な検査体制の構築ができているため。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>水質汚染事故発生時、断水を防ぐためには水道水の安全性判断を速やかに行う必要がある。そのためには検査担当者の育成と検査機器の更新を計画的に実施していくことが重要であるとする。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>検査担当者の複数化は完了したが各検査項目に対する経験年数が浅いため、技術力の向上が必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》                      成果の達成状況は順調に推移している。今後も、水道GLPの継続と検査担当者の教育訓練を進め、水道水の安全性確保に努めていく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	水道事業経営健全化事業				財務会計上の事業名	—
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	6	3	1	担当部署名	経営企画課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第6節上水道事業の充実				
	項目	項目3持続的な健全経営の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	上下水道事業経営健全化検討会議などの開催及び上下水道事業経営戦略の進捗管理を行い、水道事業の経営の効率化、財政基盤の強化を図る。
めざす姿(目標)	水需要の減少、水道施設の更新費用が増加する中、黒字経営を継続する。
事業の対象(誰を、何を)	水道事業
事業の手段・方法(どのように)	経営の健全化を実施する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・池田市上下水道事業経営戦略

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A					当年度純利益	228,866,000円	370,824,960円	119,000,000円	
主な内訳				☆成果の達成状況				A.順調に推移している	
	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由				引き続き、黒字を確保したため。
	地方債				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか				A.有効的である(改善の余地がない)
	その他( )				☆事業は効率的に実施できているか				A.効率的である(改善の余地がない)
	うち受益者負担 B				・上記「有効性・効率性」選択の理由				経営健全化検討会議の開催により、収益の確保、費用の削減等を検討し、中長期的な経営の健全化を図っているため。
一般財源 C									
一般財源比率 C÷A									
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現況と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>高度経済成長期の急激な人口増加に伴い整備された資産が、一斉に更新時期を迎えていくなか、節水型機器の普及、社会情勢の変動、人口減少等により水需要が減少傾向となっており、費用の増加・収益の減少が課題。中長期的な視点で、将来を見据えた効率的な事業運営を行っていただくため、平成29年度に策定した上下水道事業経営戦略(平成30年度～令和9年度)により投資と財源のバランスを図り、経営基盤の強化を行っているところ。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>上下水道事業経営戦略において、水道施設の耐震、更新需要の増といった課題に対し、アセットマネジメントの手法を用いて更新需要の平準化及び延命化を図るとともに、その財源となる資金のマネジメント、人材のマネジメントを行い、健全経営、適切な組織体制の構築に努める。同時に広域化の検討、ダウンサイジングの検討を継続していく。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 黒字経営ではあるが、今後、更新事業の増加、人口減少や大口使用者の使用水量の減少等厳しい状況が予想されるので、上下水道事業経営戦略に基づいて事業を遂行し、今後も効率的な事業経営を継続していく。</p>